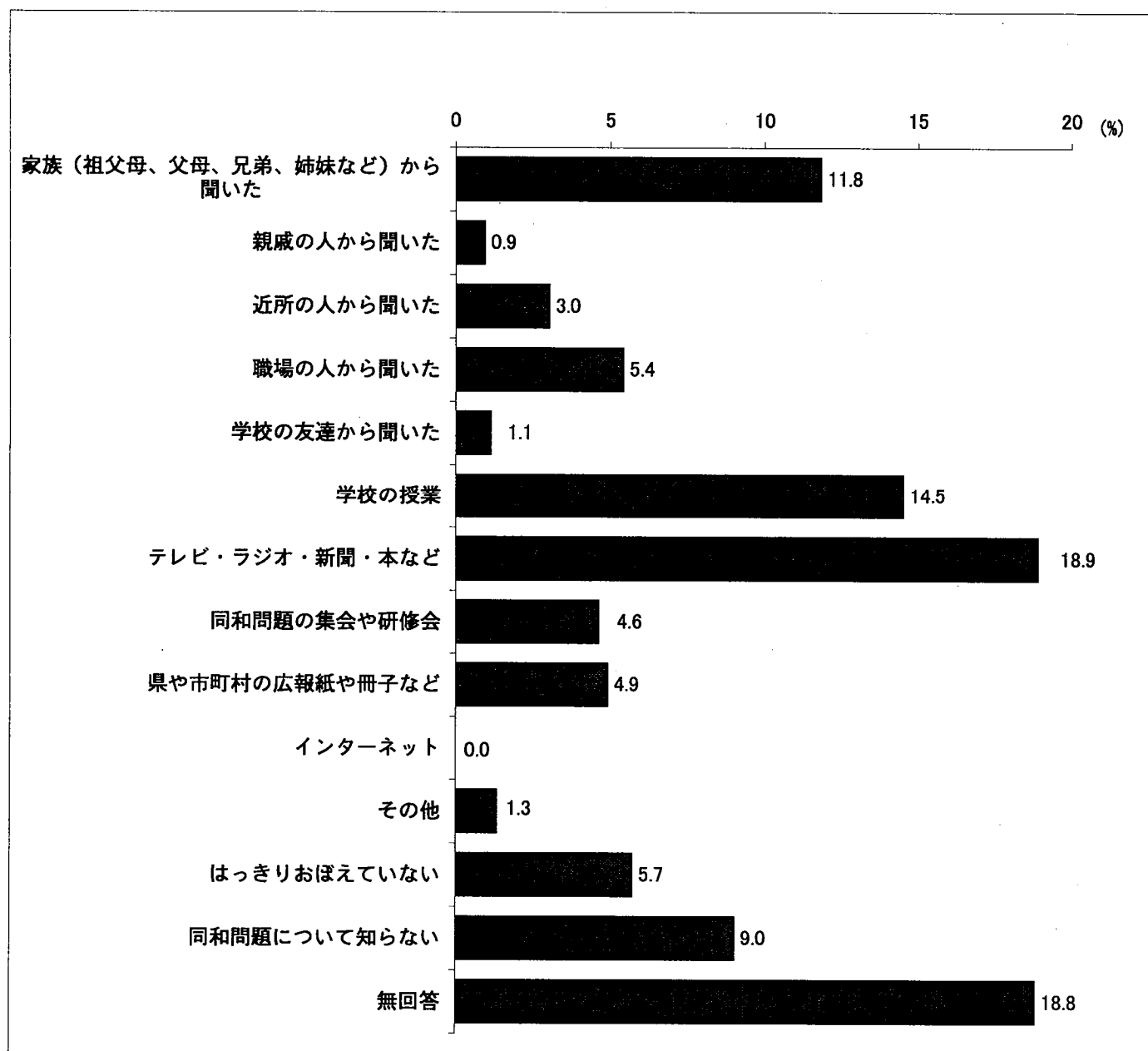


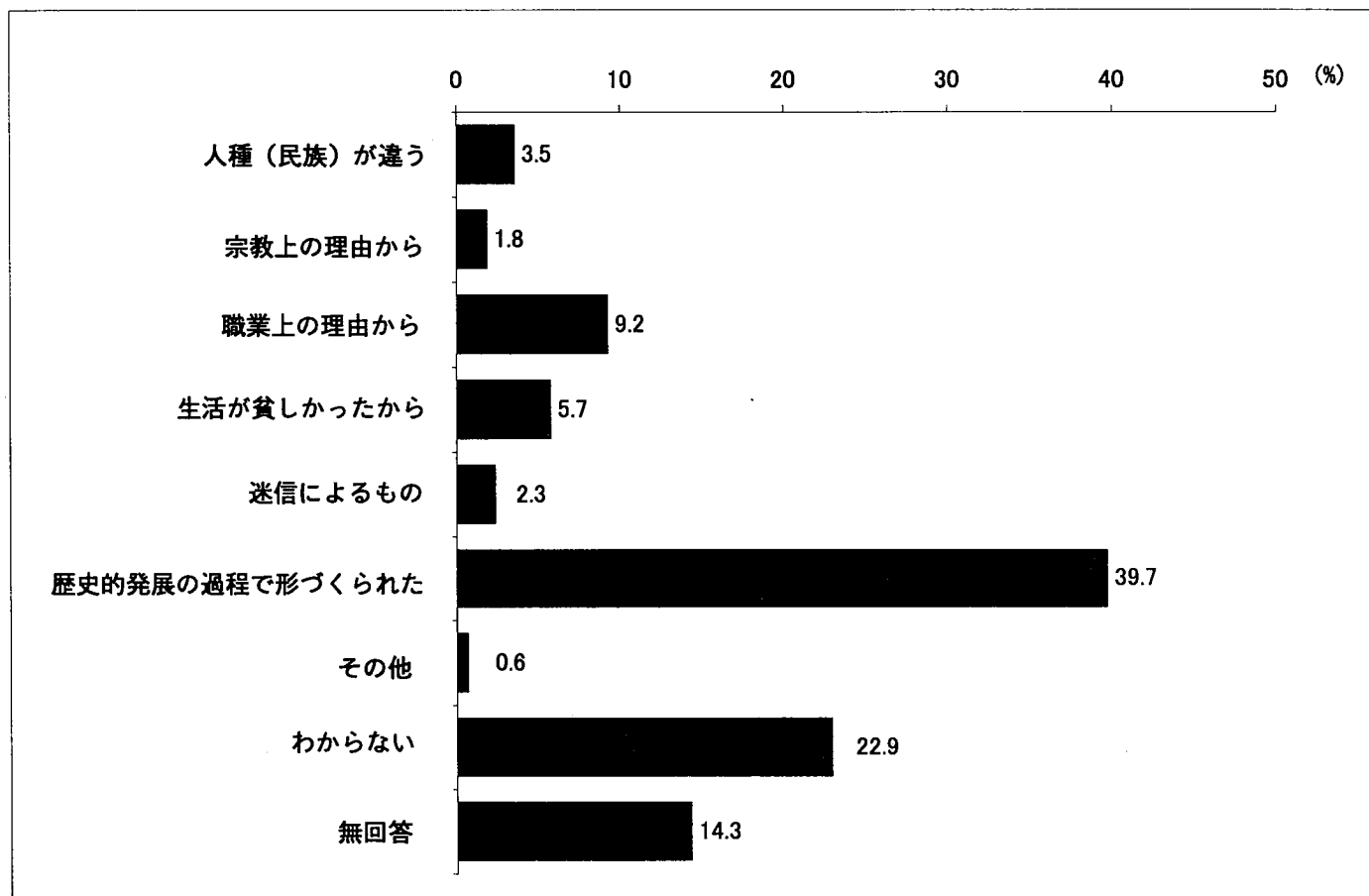
2-6 同和問題

問12 あなたが、同和問題(部落問題、部落差別)について、はじめて知ったきっかけは、何からですか。次の中からあてはまるものどれか1つを選んで番号に○をつけてください。



同和問題を知ったきっかけとして最も割合の高かったものが「テレビ・ラジオ・新聞・本など」で18.9%となっている。次いで「学校の授業」が14.5%となっている。

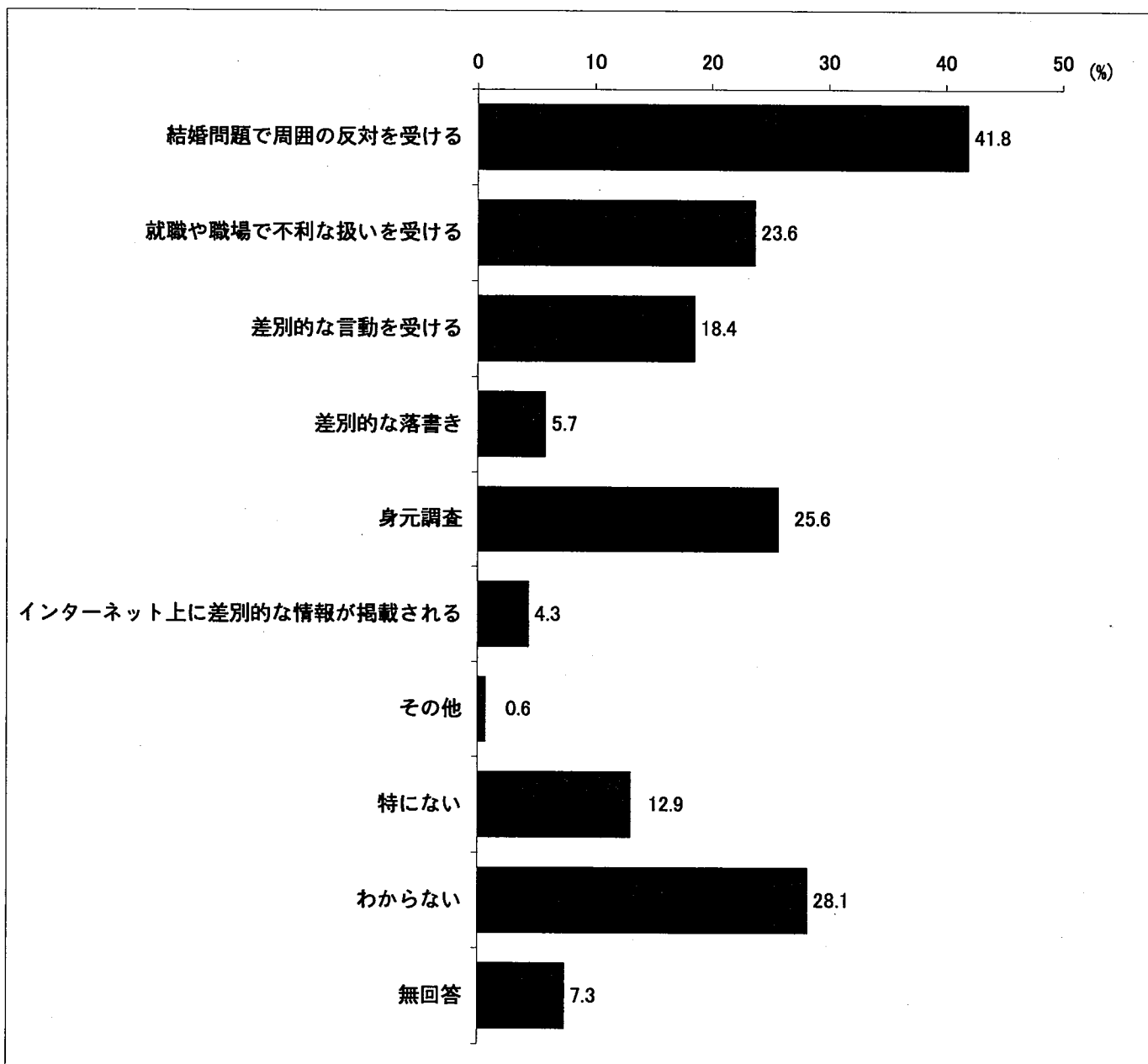
問13 あなたは、「同和地区」、「被差別部落」などによばれ、差別を受けてきた地区はどういう理由でできたとお考えですか。次の中からあてはまるものどれか1つを選んで番号に○をつけてください。



同和地区ができた理由については、正しい認識である「歴史的発展の過程で形づくられた」が最も多く39.7%となっている。次いで「わからない」と回答している人が22.9%となっている。

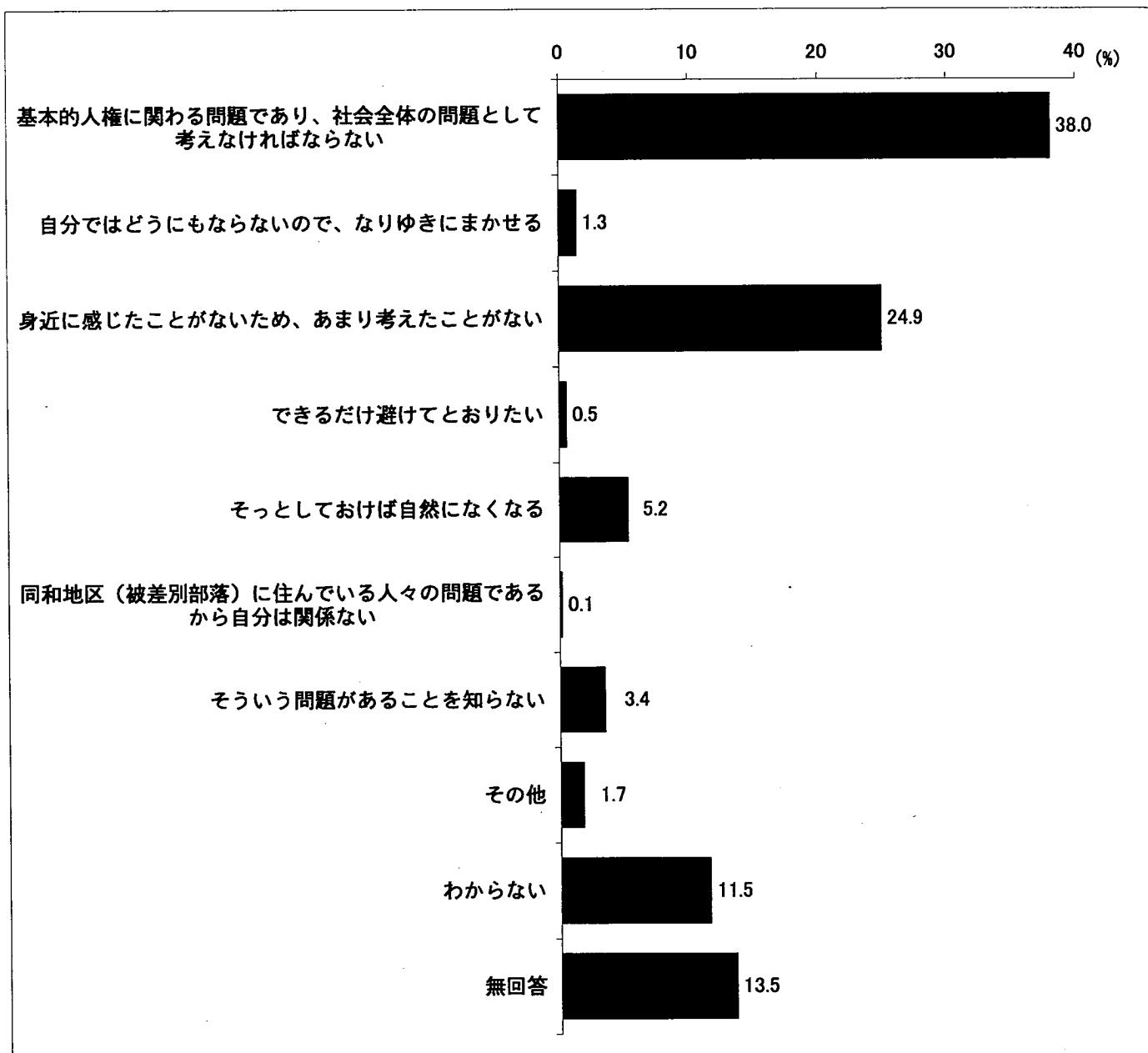
また、「人種（民族）が違う」、「宗教上の理由から」、「職業上の理由から」、「生活が貧しかったから」、「迷信によるもの」の回答をあわせて22.5%となっている。

問14 あなたは、同和問題(部落問題、部落差別)に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



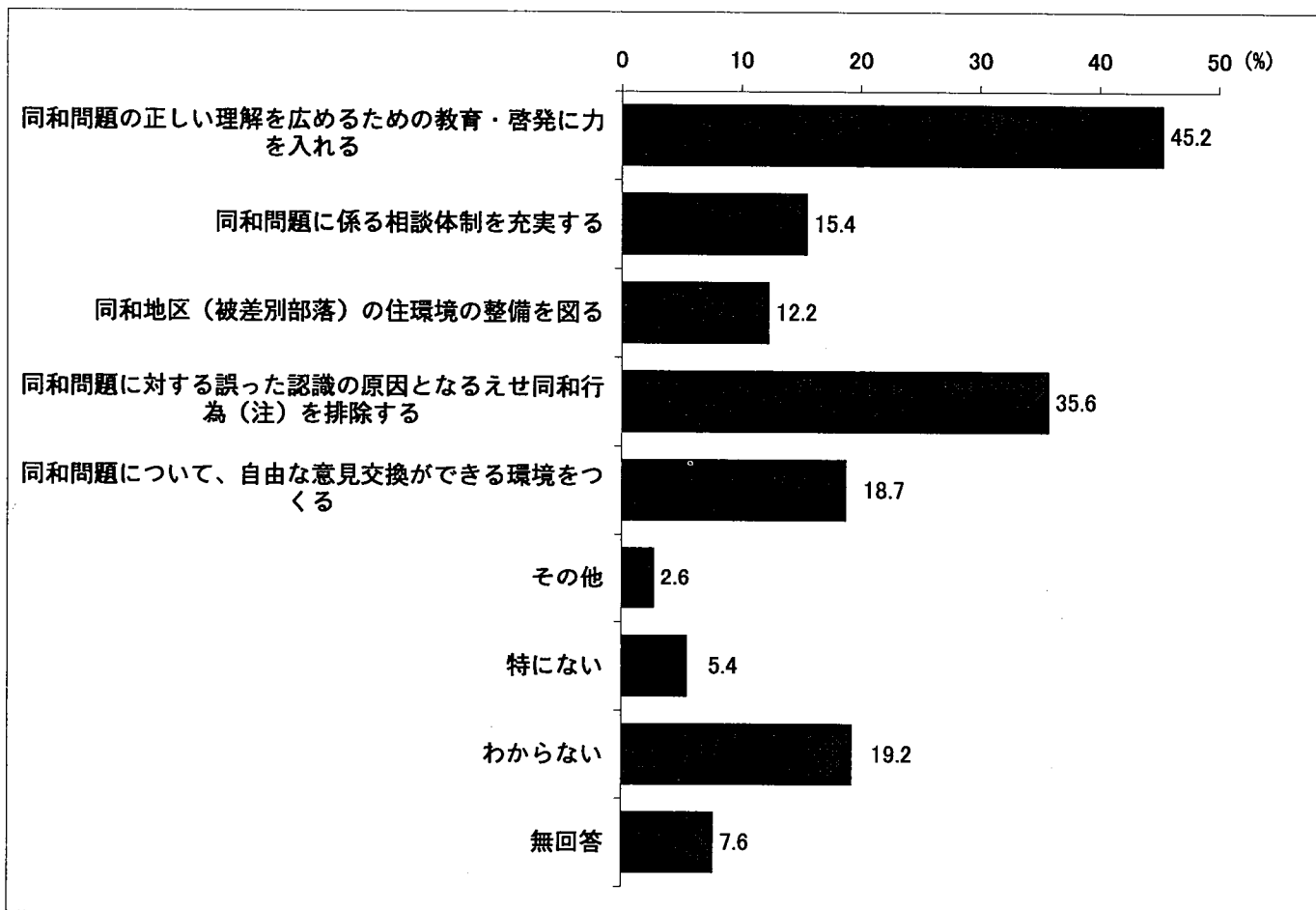
「結婚問題で周囲の反対を受ける」が最も高く41.8%となっている。次いで「わからない」が28.1%、「身元調査」が25.6%、「就職や職場で不利な扱いを受ける」が23.6%となっている。

問15 あなたは、同和問題(部落問題、部落差別)についてどのように考えますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



同和問題に対する意識として最も多かったのが「基本的人権に関わる問題であり、社会全体の問題として考えなければならない」で38.0%となっている。次いで「身近に感じたことがないため、あまり考えたことがない」が24.9%となっている。

問16 あなたは、同和問題(部落問題、部落差別)を解決するためには、どのようなことをすればよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



同和問題に対する今後の取り組みとして「同和問題の正しい理解を広めるための教育・啓発に力を入れる」が最も多く、45.2%となっている。次いで「同和問題に対する誤った認識の原因となるえせ同和行為(注)を排除する」が35.6%となっている。

(注) えせ同和行為：同和問題を口実として行われる不当な要求などの行為で、えせ同和行為自体は同和問題に対する啓発や同和関係者に対する差別をなくそうとする運動とは無関係なものです。(例えば高額な図書購入を電話で強要するなどの行為)